

動物実験に関する自己点検・評価報告書

琉球大学

2024 年 11 月

I. 規程及び体制等の整備状況

1. 機関内規程（規程及び体制等の整備）

1) 評価結果
☒ 基本指針に適合する機関内規程を定めている。 ☐ 機関内規程を定めているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 機関内規程を定めていない。
2) 自己点検の対象とした資料
琉球大学動物実験規則、琉球大学動物実験規則運用細則、琉球大学における動物実験の組織体制図
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）
2023 年度より新規則および運用細則を施行した。
4) 改善の方針、達成予定時期
新規則に基づいた委員の選出や委員会開催などが円滑に進むよう、今後も調整を続けていく。

2. 動物実験委員会

1) 評価結果
☒ 基本指針に適合する動物実験委員会を設置している。 ☐ 動物実験委員会を設置しているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 動物実験委員会を設置していない。
2) 自己点検の対象とした資料
琉球大学動物実験規則、琉球大学動物実験規則運用細則、琉球大学動物実験委員会委員一覧
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）
2023 年度施行の規則および運用細則では、3 種のカテゴリーの委員の構成と役割について定めた。また、動物実験計画審査委員会と、自己点検・評価等を担当する全体委員会の 2 種類を新たに定義して設置した。
4) 改善の方針、達成予定時期
今後も継続して改善を進める。

3. 動物実験の実施体制

1) 評価結果
☒ 基本指針に適合し、動物実験の実施体制を定めている。 ☐ 動物実験の実施体制を定めているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 動物実験の実施体制を定めていない。
2) 自己点検の対象とした資料
琉球大学動物実験規則、琉球大学動物実験規則運用細則、琉球大学動物実験計画書・動物実験計画（変更・追加）承認申請書・動物実験結果報告書、飼養保管施設設置承認申請書、施設等廃止届、飼養保

管施設・動物実験室管理状況一覧
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 規則改正によって、実施体制は明確になった。
4) 改善の方針、達成予定時期 基本指針に適合した動物実験の実施体制を定めているが、新規則施行後の動物実験計画審査委員会の定期開催や教育訓練の実施などを円滑に進められず、臨時措置で対応した。来年度以降は改善したい。

4. 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合し、安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めている。 ☐ 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めていない。 ☐ 該当する動物実験を行っていないので、実施体制を定めていない。
2) 自己点検の対象とした資料 琉球大学動物実験規則、琉球大学動物実験規則運用細則、琉球大学遺伝子組換え生物等使用安全管理規則、琉球大学医学部病原体等安全管理規程、琉球大学千原地区病原体等安全規則、医学部附属動物実験施設利用細則および感染実験区域の利用手順、琉球大学熱帯生物圏研究センター分子生命科学研究施設動物実験規定、熱帯生物圏研究センター分子生命科学研究施設動物管理区域利用細則、琉球大学安全衛生マニュアル（2024 年 3 月、第 17 版）、動物実験計画書、教育研究用途における向精神薬取扱いの手引き（研究基盤統括センター）
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） バイオセーフティに関連した、安全衛生マニュアルの内容を全面改訂した。
4) 改善の方針、達成予定時期 動物実験等実施に関わる安全衛生についての情報共有や啓蒙に今後も努める。

5. 実験動物の飼養保管の体制

1) 評価結果 ☐ 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。 ☒ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 琉球大学動物実験規則、琉球大学動物実験規則運用細則、飼養保管施設設置承認申請書、動物実験室設置承認申請書および施設等（飼養保管施設・動物実験室）廃止届、医学部附属動物実験施設利用細則および各種飼育・実験区域の利用手順、熱帯生物圏研究センター分子生命科学研究施設動物実験規定、熱帯生物圏研究センター分子生命科学研究施設動物管理区域利用細則、琉球大学安全衛生マニユ

アル（2024 年 3 月、第 17 版）、琉球大学動物実験等における災害時対応マニュアル、飼養保管施設・動物実験室設置状況一覧、2023 年度実験動物使用保管状況報告書（別記様式 7）、フィールド科学センターにおけるアニマルウェルフェアに対応した家畜の飼養管理方法、JGAP 認証（肉用牛 飼養工程・自給飼料生産工程 登録番号 L470000001 初回認証日 2021.3.1,更新審査合格 2023.2.28）

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）

新規則施行後、施設等設置に係わる委員会活動や事務手続きに不具合が生じている。また、依然として、飼養保管手順書・マニュアル等の策定が、すべての施設について完了しているわけではない。その作業を推進する委員会活動が軌道に乗っていない。そのため、一部に改善すべき点がある、とした。

4) 改善の方針、達成予定時期

施設等設置・維持に係わる委員会活動や学内体制等について改善と検討を進める。

6. その他（動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果）

国際動向をふまえた対応や学内飼養保管体制の強化を図るために、両生類や魚類を用いる動物実験等実施も動物実験規則の適用対象とすることとし、2023 年度から新規則を施行した（両生類・魚類の動物実験等実施は 2024 年度から適用対象）。

II. 実施状況

1. 動物実験委員会

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合し、適正に機能している。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 琉球大学動物実験規則、琉球大学動物実験規則運用細則、「動物実験計画書の申請について」（申請者向けガイドライン）、動物実験委員会議事録、2023 年度動物実験計画書、2023 年度動物実験計画書一覧、2023 年度動物実験計画に対する動物実験結果報告書
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 上半期の動物実験計画審査は変則的な臨時審査で対応せざるを得なかったが、下半期では動物実験計画審査委員会の定期開催を開始し、客観的な審査を実施できた。
4) 改善の方針、達成予定時期 審査の質を維持しつつ、事務処理の円滑化・簡略化を図るようにする。

2. 動物実験の実施状況

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合し、適正に動物実験を実施している。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 琉球大学動物実験規則、琉球大学動物実験規則運用細則、2023 年度動物実験計画書、2023 年度動物実験計画書一覧、2023 年度動物実験計画に対する動物実験結果報告書
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 2023 年度に実施された動物実験計画は 2023 年度からの新規と前の年度からの継続を合わせて 171 件あり、報告書回収率は 100%であった。概ね適正に動物実験が実施されており、問題がなかったことを確認した。
4) 改善の方針、達成予定時期 一部の計画に対しては助言・指導が必要であった。動物実験の実施状況の把握に基づき、適切な時期での助言・指導を進めるようにする。

3. 安全管理に注意を要する動物実験の実施状況

1) 評価結果

☐ 基本指針に適合し、当該実験を適正に実施している。 ☒ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。 ☐ 該当する動物実験を行っていない。
2) 自己点検の対象とした資料 琉球大学動物実験規則、琉球大学動物実験規則運用細則、琉球大学遺伝子組換え生物等使用安全管理規則、琉球大学医学部病原体等安全管理規程、医学部附属動物実験施設利用細則および感染実験区域利用手順書、琉球大学熱帯生物圏研究センター分子生命科学研究施設動物実験規定、熱帯生物圏研究センター分子生命科学研究施設動物管理区域利用細則、琉球大学安全衛生マニュアル（2024 年 3 月、第 17 版）、2023 年度動物実験計画書、2023 年度動物実験計画書一覧、2023 年度動物実験計画に対する動物実験結果報告書
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 前年度に続き、実験で使用するホルムアルデヒドに対する過敏反応の報告が 1 件あった。
4) 改善の方針、達成予定時期 換気に配慮した実験環境の改善・整備と、安全衛生上の注意喚起および教育を進める。

4. 実験動物の飼養保管状況

1) 評価結果 ☐ 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に実施している。 ☒ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 医学部附属動物実験施設利用細則および各種飼育・実験区域の利用手順、琉球大学熱帯生物圏研究センター分子生命科学研究施設動物実験規定、熱帯生物圏研究センター分子生命科学研究施設動物管理区域利用細則、2023 年度動物実験計画書、飼養保管施設・動物実験室設置状況、実験動物飼養保管状況報告書（別記様式 7）、飼養保管および使用の現況
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 医学部附属動物実験施設で、空調設備の故障で SPF 飼育室の温度が上昇した。動物を速やかに別のバリア区域に移動し、動物の衰弱・死亡がゼロだった点は評価できる。 しかし、前年度と同様に、2020 年度以降に新規設置申請や変更申請のあった小規模飼養保管施設の手順書・マニュアル等の整備は進んでいるが、全ての飼養保管施設についての整備や見直しが進んでいるわけではない。緊急時対応マニュアルの整備も不十分である。そのため、一部に改善すべき点がある、とした。
4) 改善の方針、達成予定時期 飼養保管に係わる委員会活動を強化する。

5. 施設等の維持管理の状況

1) 評価結果 ☐ 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に維持管理している。 ☒ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 琉球大学動物実験規則、琉球大学動物実験規則運用細則、飼養保管施設・動物実験室設置状況、2023年度実験動物飼養保管状況報告書（別記様式 7）
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 医学部附属動物実験施設で、老朽化が進んでいたチラーが予備も含めて複数台同時に台風の強風で故障し、SPF 飼育室の温度が上昇した。以前には、チラー故障で感染実験室の動物が室温上昇で衰弱、死亡した事故も発生しており、空調設備の長期修繕計画に改善すべき点があると考えられる。 飼養保管手順書、緊急時対応マニュアルの整備や、定期的な施設等の点検など、施設等の維持管理の方法には不足がある。そのため、一部に改善すべき点がある。
4) 改善の方針、達成予定時期 施設等の維持管理の方法や体制について検討を進める。

6. 教育訓練の実施状況

1) 評価結果 ☒ 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に実施している。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 2023 年度教育訓練実施記録、教育訓練受講者リスト、教育訓練代替申請書
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 規則改正で、本学の教育訓練に有効期限や再受講義務を定めた。
4) 改善の方針、達成予定時期 ウェブシステムを利用した教育訓練実施体制を確立する。

7. 自己点検・評価、情報公開

1) 評価結果 ☒ 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に実施している。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 琉球大学動物実験規則、琉球大学動物実験規則運用細則、動物実験委員会議事録、動物実験について

の情報公開（研究推進課ウェブページ）
3）評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 基本指針への適合性および飼養保管基準への遵守状況について自己点検・評価を実施し、基本指針に従って情報公開を実施した。
4）改善の方針、達成予定時期 特になし。

8. その他

(動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果)

特になし。
